

東京外環自動車道新倉PA周辺の 地域振興に向けた検討会

とりまとめ資料

令和2年10月

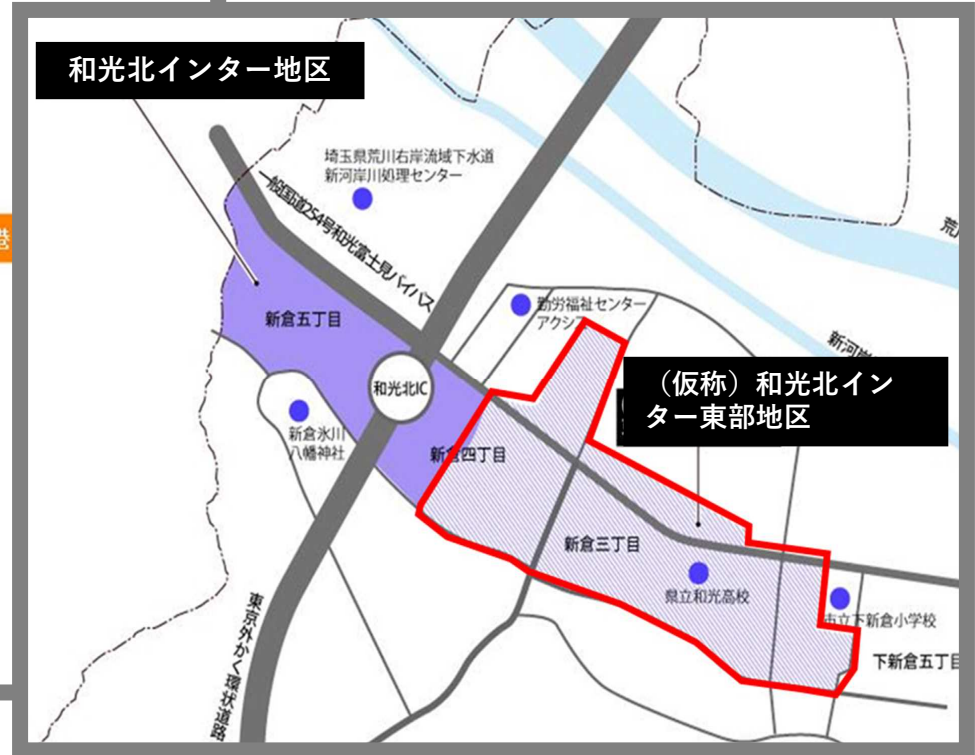
地域振興に向けた取組みについて

地域の
課題整理

目指すべき将来像の確認
【第五次和光市総合振興計画】

整備方針
の検討

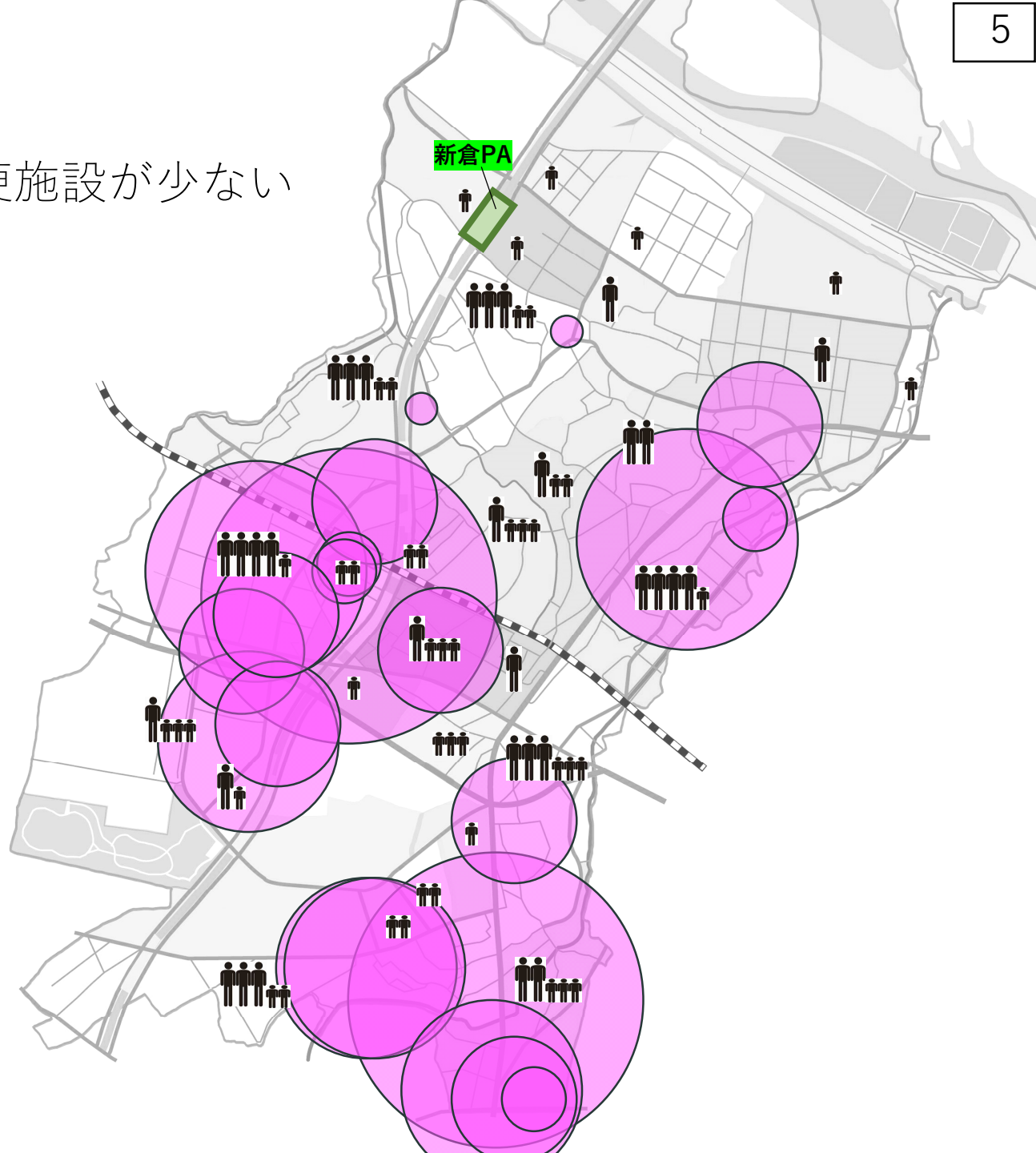
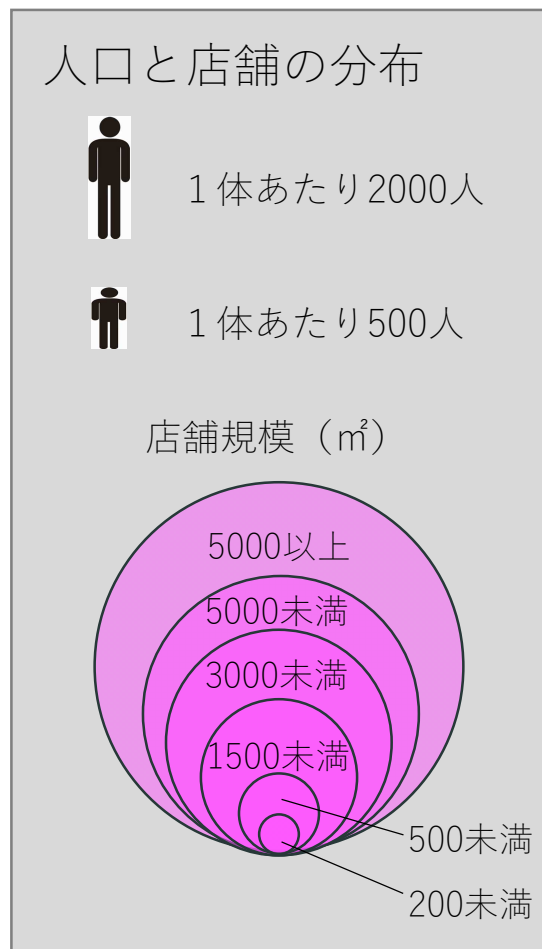
整備内容
の具体化



- ・東京外環自動車道の延伸により、地域のポテンシャルはさらに高まる
- ・土地区画整理事業により産業拠点として整備された
- ・新たな土地区画整理事業により、さらなる産業拠点の創出を目指す

地域の課題 1

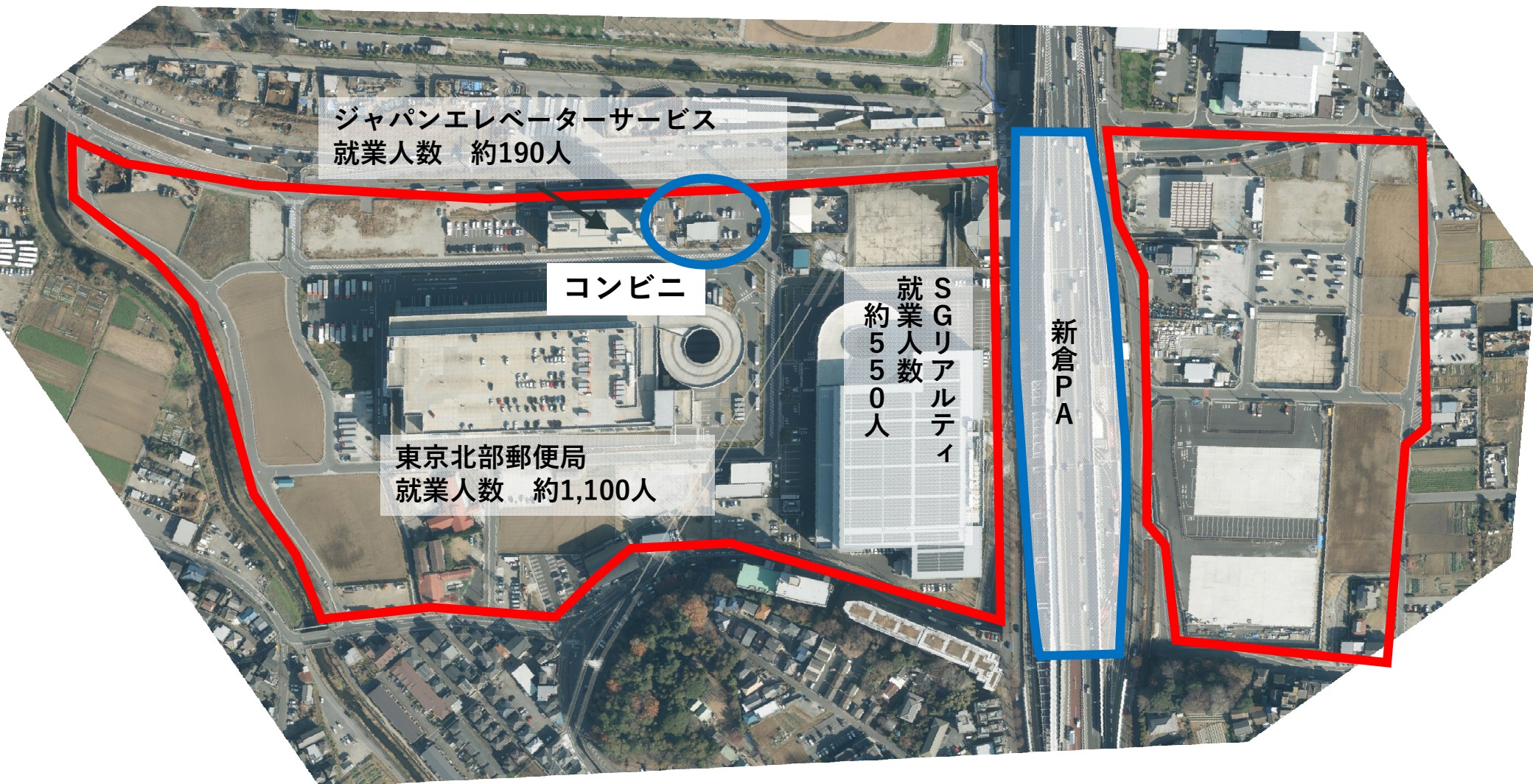
周辺住民が利用できる利便施設が少ない



地域の課題 2

就業者が利用できる利便施設が少ない

就業者 約 2 0 0 0 人 コンビニ 1 店舗のみ



■ 地域の課題 3

和光ブランドの魅力を市外に発信する場の不足

埋もれている地域の名産



いちご



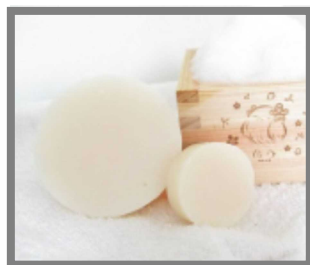
おろし金



バラ



王様のマドレーヌ
王様のフィナンシェ



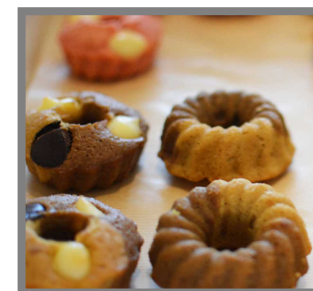
「佐介」
せっけん



満腹餃子



和光サブレ



ワッカ



新倉うどん



新倉まんじゅう



エポカル 3WAY
UVカット帽子



ブルーベリー
ジャム



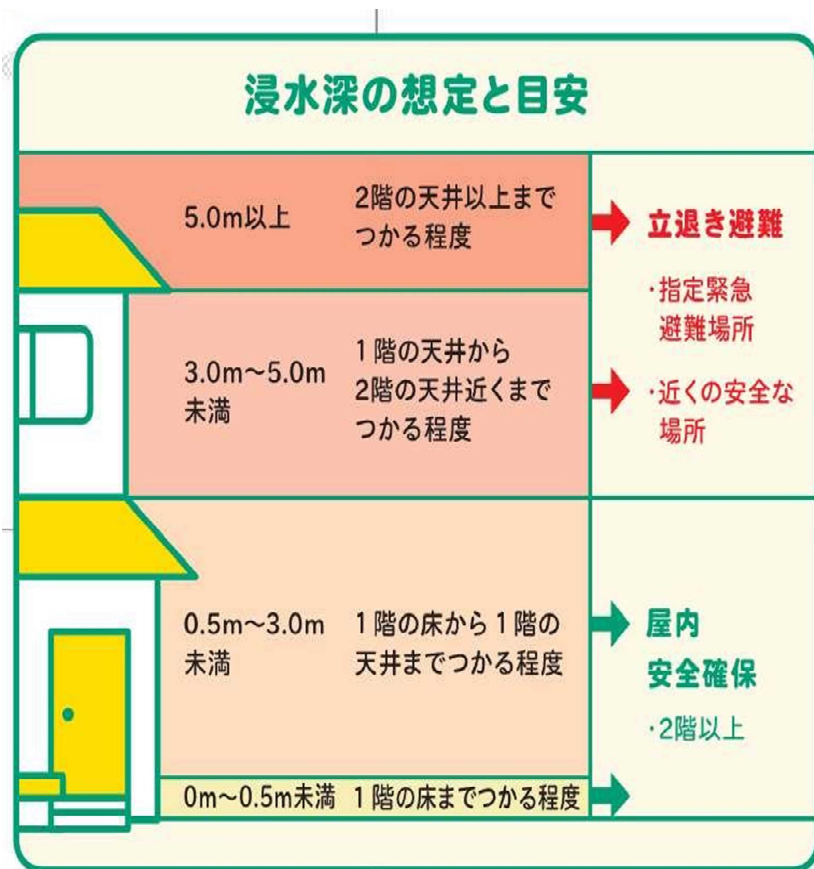
だしパック

地域の課題 4

水害に弱い

5メートル以上浸水想定区域を含む

洪水ハザードマップ



浸水深0.5m以上の区域で想定される浸水継続時間はおむね1～3日間



地域の課題 5

和光市駅周辺地域～新倉PA周辺地域間の公共交通によるアクセス性が悪い
 高速道路による広域交通と、鉄道による都市交通の結節機能の強化について
 検討を進める必要性が高い

提案タイトル

地域拠点間を接続する自動運転サービス導入事業(和光版MaaS構想案)

提案者

埼玉県和光市

活用技術

5G、自動運転

背景・課題

目指す将来像

- 産業集積拠点の中心部にある外環道新倉PAの拡張に向けた「(仮称)和光SA構想」を掲げ、地域振興拠点として商業施設と合わせて広域交通拠点としての高速バス等のターミナル機能を構築し、和光市駅と新倉PA間の1.5kmを結ぶ新たな公共交通サービスとして、自動運転サービスの実装を目指す

解決すべき課題

- 移動時間の定時性確保や高齢者の移動のしやすさが課題
- 和光市駅～新倉PA間を結ぶ新たな交通手段、及び国道254BP沿線の新たな産業集積による就業者の通勤手段の確保が課題

活用技術

事業概要

- 和光市駅と新倉PA、及び周辺の産業集積拠点間の新たな公共交通サービスによる拠点機能の強化
- 外環道側道部の道路空間を活用した自動運転車両走行空間の整備(EV型自動運転車両の専用レーンの設置)
 - 外環道側道部の専用レーン化のためのハード整備、EV型自動運転車両の運行機能の補助
 - 電磁誘導、拠点へのEVステーション設置 等
 - 交差点の交通制御
 - 5G通信による車両と信号制御(ローカル5G)
 - 誤進入防止策(ライジングボラード等)の制御

5G
自動運転



参考（抜粋）：内閣府未来技術社会実装事業と連携した自動運転サービス導入支援事業について

目指すべき将来像 第五次和光市総合振興計画

将来都市像

みんなをつなぐ ワクワクふるさと 和光

描く未来の実現に向けた基本戦略

【市全域にかかる戦略】

●基本戦略④ 地域公共交通の充実

★移動手段の確保 ★都市計画道路の整備

●基本戦略⑤

子どもたちや子育て世代の支援

★保育の質の向上
★放課後の児童の居場所づくり

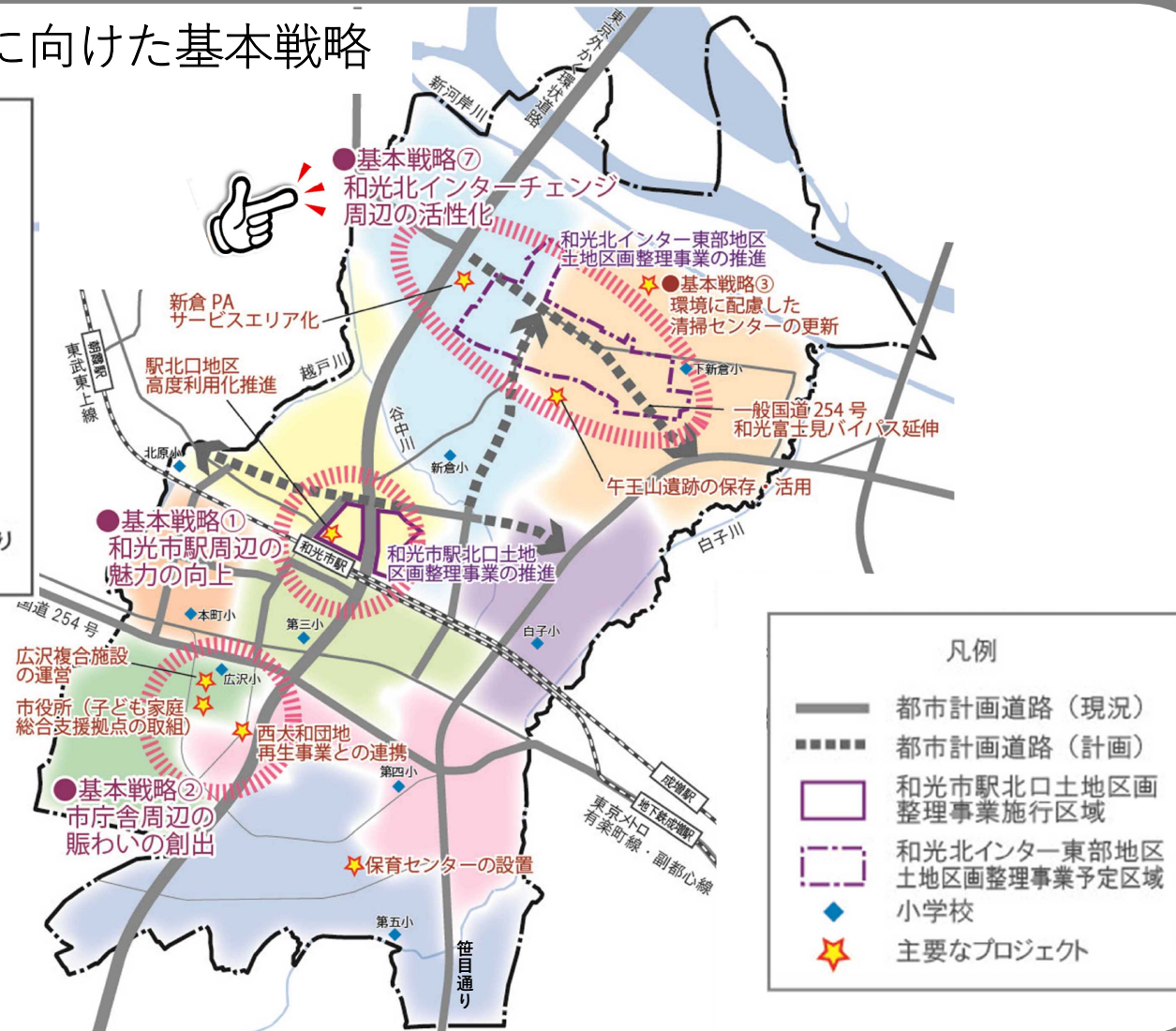
●基本戦略⑥ 高齢化への対応

★地域包括ケアの取組推進

●基本戦略⑧

地域コミュニティの再醸成

★自治会単位での地域コミュニティの醸成
★コミュニティ・スクールによる学校づくり
★地区社会福祉協議会の全市展開



施策一覧

視点① 日々の生活の基盤が整っている

目標像 1 良好な生活環境が得られる

- 施策 1-1 安心して暮らせる居住環境の形成
- 施策 1-2 計画的な公園の整備と維持管理の充実
- 施策 1-3 安全な水の安定供給
- 施策 1-4 公共下水道の維持管理
- 施策 1-5 行政窓口サービスの向上
- 施策 1-6 廃棄物の適正処理の推進
- 施策 1-7 環境にやさしい持続可能な取組の推進

目標像 2 安全かつ快適に移動できる

- 施策 2-1 安全で快適な道路の整備
- 施策 2-2 利便性の高い地域公共交通網の形成
- 施策 2-3 交通安全対策の推進

目標像 3 身の回りの生活上の不安が軽減される

- 施策 3-1 防災体制・消防支援体制の強化
- 施策 3-2 地域と連携した防犯対策の推進
- 施策 3-3 消費者や市民が相談しやすい体制づくり
- 施策 3-4 人権啓発・教育及び平和の推進
- 施策 3-5 男女共同参画社会の実現

視点② それぞれのライフステージを充実させる

目標像 4 子どもが自己肯定感を持ち健やかに育つ

- 施策 4-1 確かな学力と自立する力の育成
- 施策 4-2 豊かな心と健やかな体の育成
- 施策 4-3 質の高い学校教育のための教育基盤の整備・充実
- 施策 4-4 多様なニーズに対応した教育の推進
- 施策 4-5 家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進
- 施策 4-6 安全安心な学校施設の整備
- 施策 4-7 児童や青少年の居場所づくり

目標像 5 安心して妊娠・出産・子育てができる

- 施策 5-1 出産や育児に希望が持てる環境づくり
- 施策 5-2 子育てと仕事の両立支援

目標像 6 高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる

- 施策 6-1 高齢者の生きがいと社会参加への支援
- 施策 6-2 きめ細かな介護予防の推進
- 施策 6-3 高齢者の暮らしを支える仕組みの充実

目標像 7 誰もが自立した生活と社会参加ができる

- 施策 7-1 障害者が安心できる障害福祉の推進
- 施策 7-2 低所得者の生活の安定と自立への支援

視点③ 心豊かに、満足度の高い生活が送れる

目標像 8 健康に日々を暮らしている

- 施策 8-1 一人一人に応じた健康づくりの推進
- 施策 8-2 地域との連携による保健・医療体制の充実
- 施策 8-3 国民健康保険及び国民年金の適正な運営

目標像 9 いきいきと仕事をし続けられる

- 施策 9-1 交通の利便性を生かした産業拠点の創出
- 施策 9-2 中小企業・小規模事業者の育成支援
- 施策 9-3 魅力ある新たな産業の創出
- 施策 9-4 都市農業の推進と担い手の育成
- 施策 9-5 就労支援対策の推進

目標像 10 趣味などを通して充実した時間を過ごせる

- 施策 10-1 生涯学習の振興
- 施策 10-2 創造的な文化の振興
- 施策 10-3 スポーツ・レクリエーション活動の推進

目標像 11 まちや人とつながり心豊かに過ごす

- 施策 11-1 コミュニティ活動の推進
- 施策 11-2 地域で支え合う福祉の推進
- 施策 11-3 協働によるまちづくりの推進
- 施策 11-4 国内外の交流と多文化共生の推進

目標像 12 シビックプライドを持っている

- 施策 12-1 良好な景観形成の推進
- 施策 12-2 歴史的・文化資源の保護・活用
- 施策 12-3 湧水・緑地の保全と再生
- 施策 12-4 市の特色を生かした地域ブランドの確立
- 施策 12-5 効果的なシティプロモーションの展開

基本戦略⑦ 和光北インターチェンジ周辺の活性化

(抜粋) 土地区画整理による新たな産業拠点を生み出していくほか、新倉PAのサービスエリア化構想を都市農業の振興に結び付けていく

施策9-1 交通の利便性を生かした産業拠点の創出

(抜粋) 研究・開発施設や物流関連施設等を集積し、交通の利便性に優れた新たな産業拠点を創出する
雇用確保を推進するため、生活利便施設の誘致を推進し、就業地としての賑わいを創出する

施策9-4 都市農業の推進と担い手の育成

(抜粋) 農産物の販売力を強化するために、農産物の付加価値の創造や多様な販路の確保が求められる

施策12-4 市の特色を生かした地域ブランドの確立

(抜粋) 和光ブランドの販路開拓を行うとともに、認知度向上のために市民及び市外への情報発信を図る

施策12-5 効率的なシティプロモーションの展開

(抜粋) シティプロモーションの視点から地域の魅力を市内外へ効果的に訴求し、市民が「愛着」や「誇り」を持てるように、また市外の人が本市に「訪れたい」「住みたい」と思えるような取組が必要

施策3-1 防災体制・消防支援体制の強化

(抜粋) 他自治体や国などの機関、民間などとの災害時応援協定の充実を図る

施策2-2 利便性の高い地域公共交通網の形成

(抜粋) 次世代モビリティやMaaSを含めた新しい移動技術の活用を検討する

整備方針の検討

地域の課題 → 第五次和光市総合振興計画 → 整備方針

課題1

周辺住民が利用できる利便施設が少ない

課題2

就業者が利用できる利便施設が少ない

課題3

和光ブランドの魅力を市外に発信する場の不足

課題4

水害に弱い

課題5

交通結節機能強化の必要性

基本戦略⑦
和光北インターチェンジ周辺の活性化

施策9-1
交通の利便性を生かした産業拠点の創出

施策9-4
都市農業の推進と担い手の育成

施策12-4
市の特色を生かした地域ブランドの確立

施策12-5
効率的なシティプロモーションの展開

施策3-1
防災体制・消防支援体制の強化

施策2-2
利便性の高い地域公共交通網の形成

新倉PAの拡張

混雑緩和のための駐車マス確保

大型駐車マスの確保

地域振興拠点の整備

生活利便施設の整備

ドライバーの休憩施設の整備

地場産農産物提供の支援

和光ブランドの販路開拓

様々な媒体を活用した広報の充実

災害時応援協定の締結

MaaSを含めた新しい移動技術の活用

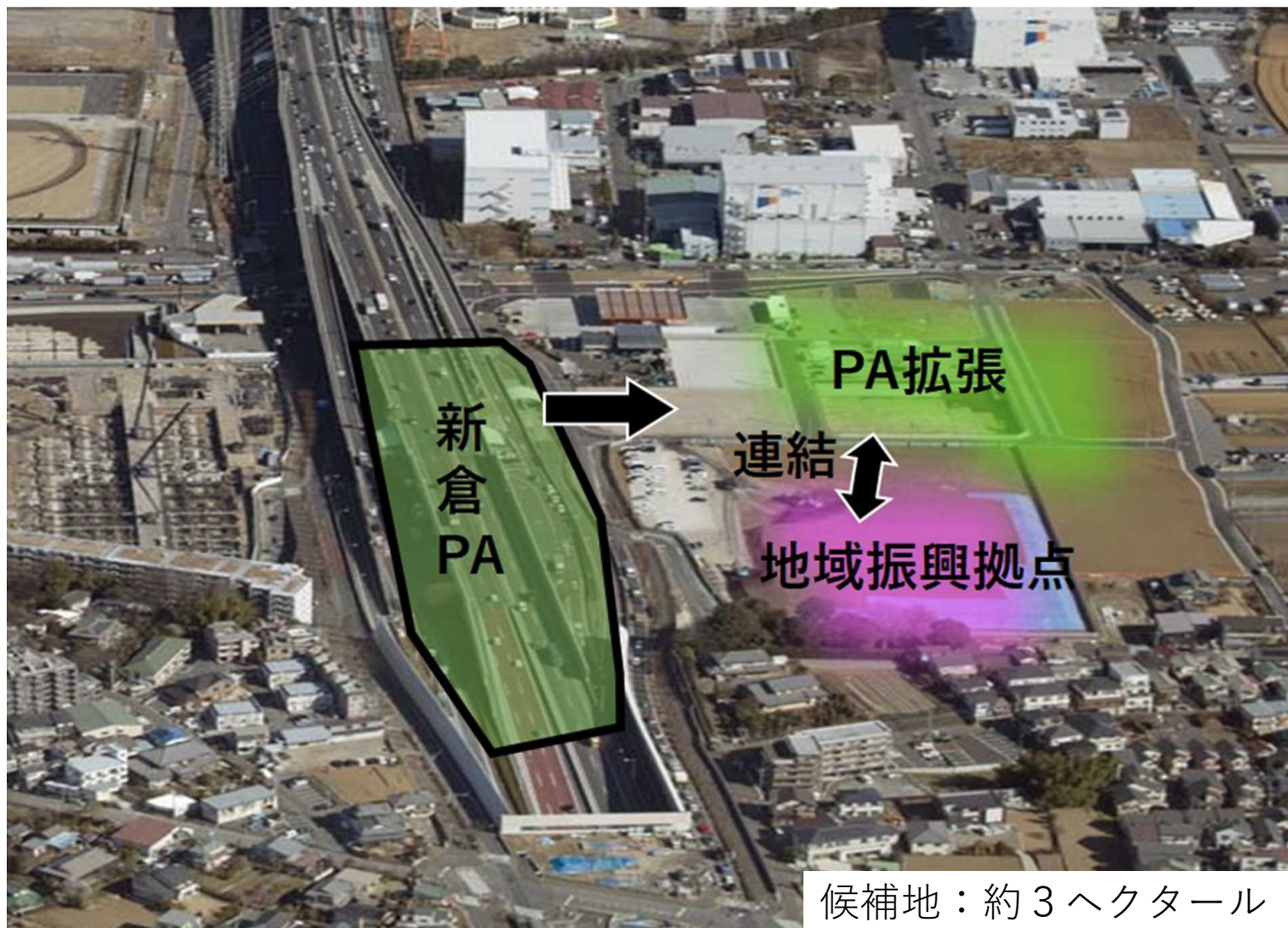
和光版MaaS構想案※の推進

自動運転実装化に伴う機能導入

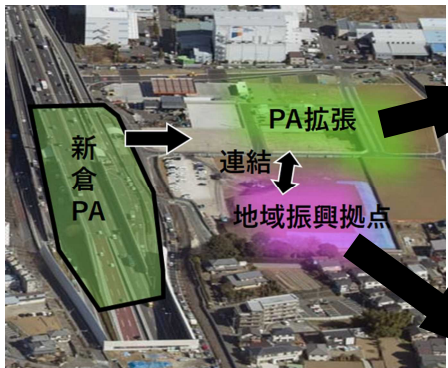
※内閣府未来技術社会実装事業と連携した自動運転サービス導入支援事業に選定

■ 整備方針

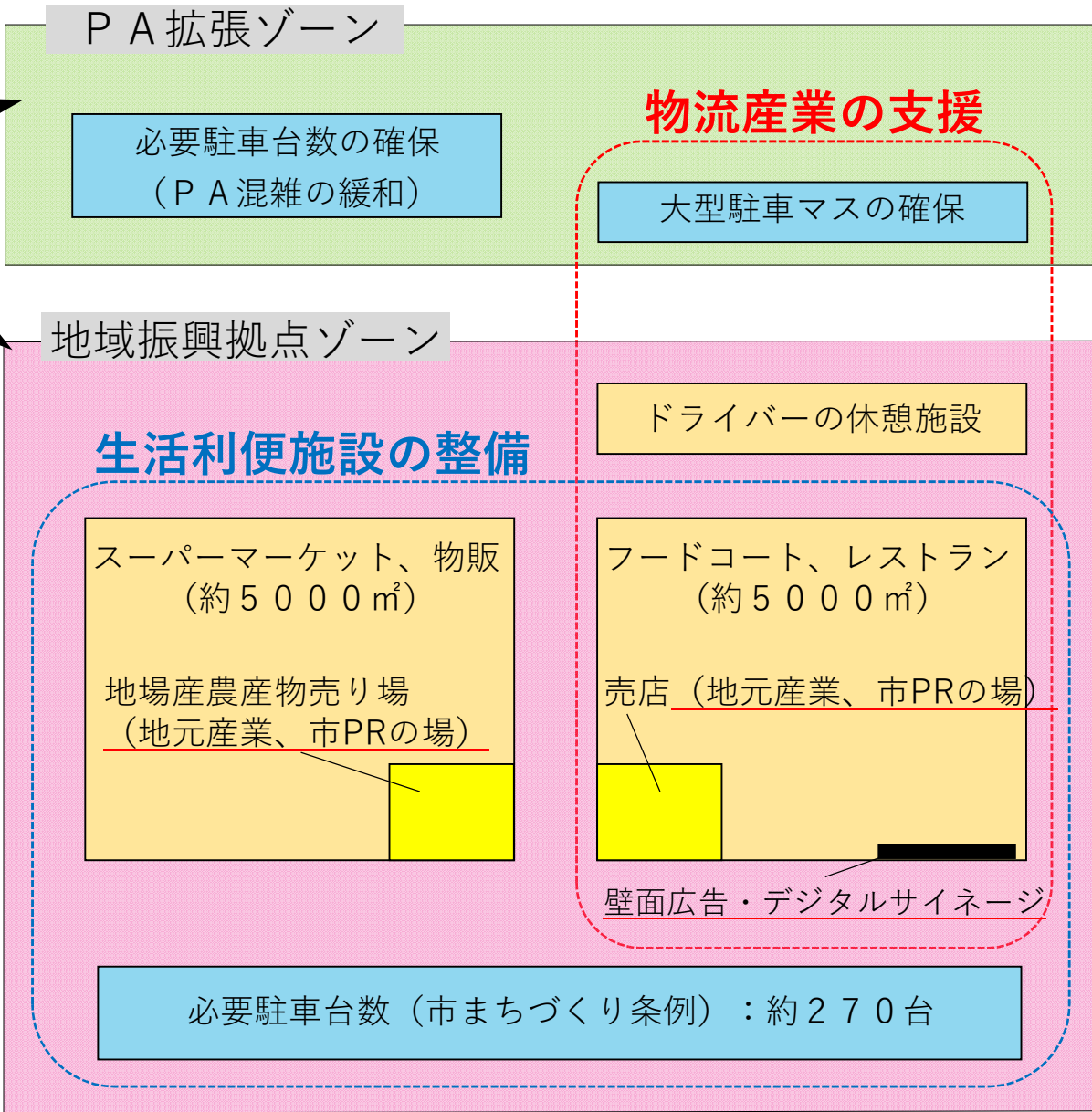
地域振興拠点の整備 + 新倉 P A の拡張



整備の内容・規模の想定



候補地：約3ヘクタール



自動運転実装に伴う機能



■ 今後の取り組みについて

地域振興拠点化、及び高速道路施設の機能向上のための整備方針

- ・ 3ヘクタールの候補地内で、必要な手続き等を踏まえたうえで、地域振興拠点の整備・新倉PAの拡張を進める。
- ・ 地域振興拠点と高速道路施設の連結によって、さらなる機能向上を目指す。

生活利便施設の機能、市のPR、地元産業の推進、防災協定、物流産業の支援※¹などの機能を持たせる。

また、MaaS活用の検討を進め、自動運転実装化に伴う機能※²を導入する。

※1 大型駐車マスの配置、ドライバーの休憩施設など

※2 EV型自動運転車両の管理拠点、EVステーション、高速バス乗換えのための配置計画など

今後の調整事項等

